

題材名「南海地震について知ろう」

目 標

- ・南海地震が発生した時、自分たちの校区にどのような被害が発生するかを知ることにより、防災意識を高める。
- ・災害についての研究者の話を直接聴くことで、災害についてより深い知識を得ると共に学習の定着をはかる。

コンピュータを活用する利点

防災教育を進める上で、体験的な学習を進めることは大変難しい。兵庫県では阪神・淡路大震災の発生により大変な被害を受けた経験を後世に伝えるため「人と防災未来センター」が設立された。防災教育という点では、そのような施設を利用することにより防災教育を深めることができると考えられる。しかし、実際に施設見学を行うことは教育課程上困難な状況にある。そのような課題を乗り越える手段の一つとしてテレビ会議の利用を考えた。テレビ会議を利用することにより、専門

の研究者からの講義が受けられ、CGや資料などが豊富に提示された学習が進めることができる。臨場感のある体験的な学習が、学習の定着につながると考えられる。

ICT 活用場面

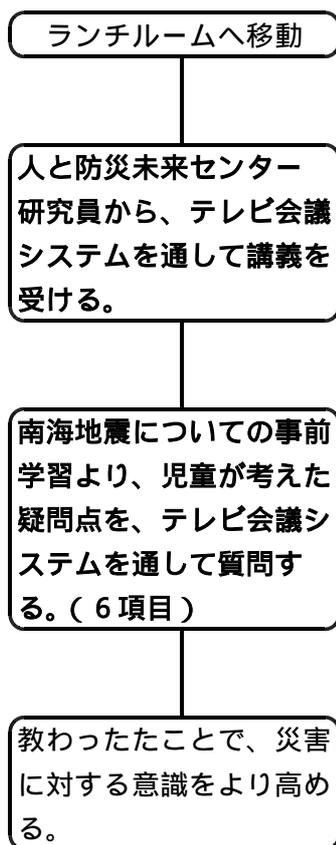
- ・離れた場所から研究者の講義が、学校にいながらにして受けすることができる。
- ・テレビ会議のため、一方的な講義にとどまらず、児童の側からも疑問を投げかける双方向の授業が可能となる。

成果と課題

- ・想像していた以上の資料提示と研究者の講義内容により、児童は大変な興味・関心を持って授業を受けることができた。児童の感想からも、「地震のことについて良くわかったし、地震が起きたときには今日勉強したことを忘れないでいたい。」という感想も見られた。
- ・今回は、兵庫県立教育研修所のテレビ会議システムを利用したが、今後は、西宮市地域イントラネットのシステムでも実施ができれば、もっと手軽に取り組めると考える。



授業の流れ



ICT 活用環境等

使用周辺機器	Webカメラ2台・プロジェクター2台・パソコン2台・マイク1本
使用ソフト名	情報教育ネットワークテレビ会議システム
使用教室	ランチルーム